

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

	事業所名	児童デイサービスつむぎの里 児童発達支援「もこもこ」		公表日	2026 年 4 月 13 日	
環境・ 体制整備		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・子どもの人数や年齢、特性に合わせて職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・子どもの特性に応じて、写真・絵カードやブース等を使用し、視覚支援や環境構成を行っている。また、刺激となるものを減らし、落ち着いて過ごせるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日降園後に安全な消毒液を用いて清掃を行っている。清潔保持・感染防止のため換気や子どもが舐めても安全な除菌剤を使用し必要に応じてその都度除菌を行っている。 ・運動は広いホールで行う等、子どもの活動に合わせた環境を整えている。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別に対応できるような環境を整えている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎月の職員会議で、各職員が意見を出し合って、日々の保育内容や業務の振り返りを行い、目標設定および改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケート結果等を基に、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員が意見を出し合い、園長へ相談しながら業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・現在第三者評価は行っていないので、実施に向け取り組んでいく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・虐待防止研修など受講し、職員の質の向上を図っている。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムを作成し、ホームページ上で公表している。		
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・KIDS、太田ステージ等の発達検査、日々の生活の様子や、保護者のニーズを基に職員間で話し合い、個別支援計画を作成している。		
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援管理責任者だけでなく、各職員で話し合い、検討を行っている。		
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画を作成し、職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・発達検査等のフォーマルなアセスメントや、日々の行動記録、月ごとのケース記録等のインフォーマルなアセスメントを使用し確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・個別支援計画では「本人支援」「家族支援」「移行支援」等の内容を踏まえながら各項目を設定し、具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・毎日ミーティングを行って課題を全員で確認している。 ・クラス担任同士で話し合い、支援内容を計画している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・子どもたちの特性に応じ、楽しく取り組めるように日々のプログラムを工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの特性や発達状況を踏まえ、個別活動や集団活動での各目標を組み込んだ個別支援計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝必ず朝礼を行い、その日の内容を確認している。またクラス担任同士で支援内容を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・クラス担任同士で話し合い、ふりかえりを行っている。また毎月のケース会議で情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々必ず個別記録をとり、支援内容の検証や改善につなげている。また毎月のケース会議では、項目ごとの様子をまとめ、全職員で共有し、支援内容の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者（園長）が必ず参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・市の母子保健課や、相談支援事業所、保育所、幼稚園など関係機関と随時連携をとっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行支援として、移行先の職員との打ち合わせや、引き継ぎ書の作成を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・サポートノートを作成し、子どもの様子を詳しく伝え、相互理解及びスムーズな移行を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・併用利用の子どもは機会がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日々の連絡帳や保護者による送迎時に直接担任から支援内容等を伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・令和7年度は5月と3月の2回、保護者勉強会を実施した。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・入園時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・個別面談等で家族の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画を説明し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的に面談を行い、家庭で困っていることがないか等をうかがい、助言をしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・令和7年度は5月と3月に2回保護者会(モニターでの保育参観、保護者勉強会、給食試食会)を実施した。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・年2回実施している個別面談だけでなく、随時連絡帳や送迎時でのやり取りで保護者からの聞き取りを行っている。又、園長に直接連絡を取れるような体制を取っており、必要な支援を迅速に行えるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・定期的に通園だよりを発行し、こどもの様子や必要な情報を伝えている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カード、PECS等を使用している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・現在事業所の行事は行っていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルを策定し、火災や地震訓練等を行っている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・地震や火災を想定した訓練を定期的に行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・入園前におけるアセスメントで確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・入園前におけるアセスメントでアレルギーの有無について確認をしている。 ・給食、おやつについてアレルギー成分表示を毎日の朝礼で確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・毎日朝礼で前日のヒヤリハットを職員全員で確認し対策を検討している。内容は記録に残している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・法人全体での虐待防止研修を受講している。 ・虐待防止のチェックリスト等を用いて、セルフチェックをしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・痲癩が激しい場合等は、個室で安全を確保した上で、落ち着くまで職員が見守りする旨を個別支援計画に記載している。	